

議会だより

ふたば

災害版 第2号

発行：双葉町議会
〒347-0105 埼玉県加須市騎西 598-1
(旧騎西高校内)
☎ 0480-73-6880(代表)

《東電福島第一原発事故 被災市町村議会総決起大会》

8月9日、田村市文化センターにおいて、田村市・南相馬市・伊達市・川俣町・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・浪江町・葛尾村・飯館村・双葉町の議会議員が集結し、「東京電力福島第一原子力発電所事故災害に関する決議」を採択しました。



『東京電力福島第一原子力発電所事故災害に関する決議』

東京電力福島第一原子力発電所水素爆発事故により放射能漏れが発生し、約5カ月となるが、今もって収束の道筋すら見えない事態となっている。

避難を余儀なくされた住民は、避難先において不便な生活を強いられ、いつ帰宅できるかわからない中であつて、身心の疲労も極限に達しており、特に避難生活が長引く中で、被災弱者や子どもの健康被害が大きな課題となっている。

また、農家や事業者においてもいまだ再開の見通しが立たない状況にあり、農畜産物の出荷制限や米の作付制限、さらには農林水産物や工業製品、観光産業などにおける風評被害も発生し、原子力事故災害の影響はますます拡大している。

このような中で政府に対しては、原子力発電所事故の正確で迅速な情報提供と一刻も早い収束、スピード感を持った実効ある施策の実施を求めるとともに、塗炭の苦しみにある被災者と自治体の声に真摯に耳を傾け、心の通った対応を強く望むものである。

我々被災市町村議会は、すべての住民が住み慣れた地域に戻り、光輝くふるさとの再生図られることを確信し、これまで以上に強固な結束と連携を図り全力を尽くす決意である。

よって国及び東京電力は、一刻も早い事態の収束と住民の安全・安心を確保するため、下記事項に対し速やかな措置を講じるよう強く要望する。

記

- 1. 国及び東京電力は、福島第一原子力発電所事故を一刻も早く収束させること。
2. 国は、災害復興や被災者救済のため震災関連特別法を早期に成立させること。
3. 国及び東京電力は、原子力災害に関するすべての補償について、被災者や被災自治体などの意見を十分踏まえ、県内全域を対象とし責任をもって対応すること。
4. 国は避難住民などに対する教育、医療、福祉、介護の充実と雇用の確保を図ること。
5. 国及び東京電力は、放射性物質に汚染された土や汚泥、焼却灰等の処理について責任をもって行うこと。
6. 国は、放射線量の高い校庭等の表土を全額国費で除去処理するとともに、プール使用の明確な基準を早期に示すなど、子供の安全・安心を確保すること。
7. 国及び東京電力は、放射性物質の除染について連携し速やかに実施すること。

《町民の皆様へ》

双葉町議会議長 清川 泰弘

3月11日の東日本大震災と原子力発電所の事故により、双葉町を離れて7ヶ月を過ぎようとしています。避難生活が長期化し、町民皆様のご心労は大変なものかと思えます。原子力発電所事故の一日も早い収束を望んでおりますが、まだ先が見えない状態であります。議会としても、事故の全面補償と賠償や被ばく検査等、町民の皆様の健康管理に力を注いでおります。これからも皆様の生活の安定と町の復興・復旧に向け取り組んで参りますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

Calendar of events from August 3rd to October 26th, including meetings with neighboring municipalities, national assemblies, and local council activities.



双葉地方町村議会議員研修会

～10月17日～

福島市の「福島グリーンパレス」において、郡内の議員を対象とした研修会が開かれました。東京大学アイソトープ総合センター長・東京大学先端科学技術研究センターシステム生物医学分野医学博士教授 児玉龍彦氏による『国民の力をあわせて除染』と題する講演が行われました。

編集後記

本年3月11日、未曾有の大震災により、被災された方々にお見舞いを申し上げると共に、不幸にもご家族を亡くされた方々に喪心より哀悼の誠を捧げます。加えまして、福島第一原子力発電所事故に伴い、厳しい避難生活を余儀なくされている方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。さて、私ども双葉町議員11名の任期中最後の議会だより発行となりました。限られた紙面で工夫して分かり易く作成したつもりですが、いたらぬ点等多数あると思っておりますが、

一読していただければ幸いです。一日でも早い復興を願っています。
(高萩)

- 編集委員: 高萩 文孝, 岩本 久人, 渋谷 一弘, 石田 翼, 野村 満, 木幡 敏郎



平成23年第3回

定例会

9月21日～29日

# このようなことが決まりました

平成23年第3回定例会は、9月21日から29日までの9日間の日程で開かれました。  
条例の制定・改正など25議案が提出されました。  
内容は、次のとおりです。

## 《議員提出議案》

### 【双葉町議会の議員の定数を定める条例の一部改正】

#### 賛成多数(賛成8反対2)で可決

#### 議員定数を12人から8人に

《提出者》 木幡敏郎 《賛成者》 伊澤史朗

定例会最終日の9月29日『双葉町議会の議員の定数を定める条例』の一部改正について、議員発議の議案として提出されました。  
活発な質疑や討論が行われ、採決の結果、賛成8反対2の賛成多数で可決しました。この条例は、11月20日に行われる一般選挙から適用されます。

#### 【提案の理由】要約

当町としてもこれまでに町民の協力のもと財政の再建を図るべく「財政健全化計画」を推進し、効率的な行財政の運営に取り組んできました。また、議会としてもこれまで度々定数の削減や議員報酬の削減などを行い、民意の反映に取り組んできました。この度の大地震で町財政状況や全国各地に避難を余儀なくされている町民各位の置かれている諸状況をかながみて、私どもはなお一層の議会改革が求められているものとの認識のもと、議員定数12人を4人減の8人とする改正案を提案しました。

## 《町長提出議案》

【平成23年度一般会計・特別会計補正予算】賛成全員⇒可決

【双葉町福島支所設置条例の制定】賛成全員⇒可決

・福島県内の避難者への各種証明書発行や窓口業務及び仮設住宅の管理業務などを行います。

住所：郡山市朝日1丁目20番地2号 旧仙台食糧事務所郡山支所

【双葉町選挙公報発行に関する条例の制定】賛成全員⇒可決

・町議会議員一般選挙を執行するにあたり、候補者が十分な選挙運動ができない状況にあることから有権者へ選挙公報を配布します。

【東日本大震災等による被災者に対する町税の減免に関する条例の制定】賛成多数⇒可決

・東日本大震災及び原子力災害の被害を受けた納税義務者等の納付すべき町税を減免し、税負担の軽減を図ります。

【双葉町公告式の特例に関する条例の一部改正】賛成全員⇒可決

・公告を行う場所に福島支所を加えます。

【双葉町教育委員の任命】賛成全員⇒同意

・双葉町山田 大久保敏己氏

#### 【傍聴者数】

・21日・・・15人  
・22日・・・22人  
・28日・・・14人  
・29日・・・9人

合計 60人

↓  
・双葉町民 9人  
・町外 7人  
・報道関係 44人

#### 平成22年度末町債(町の借金)の状況(残高)

・一般会計 3,282,607,608円  
・公有林整備事業特別会計 42,400,000円  
・公共下水道事業特別会計 2,795,317,311円  
前年度と比較して、483,157,620円減少しています。

#### 【平成22年度一般・特別会計決算】

歳入 79億7,901万7,613円  
歳出 73億5,126万5,162円  
差引 6億2,775万2,451円

#### 《平成22年度双葉町一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金の運用に関する意見書》

平成22年度双葉町一般会計並びに特別会計の審査については、支出内容及び予算執行は適正と認められました。  
一般会計では、歳入決算額が前年度に比べ206,100千円(3.5%)増、歳出決算額70,625千円(1.3%)減となっています。不納欠損額については、一般会計、特別会計あわせて、1,892万6,675円、収入未済額は2億7,237万1,038円(うち繰越明許費3,813万4,000円、事故繰越2億3,216万3,791円)です。国民健康保険特別会計、介護保険特別会計は、医療費の高額負担や介護を受ける人の増加等で一般会計からの繰入金が年々増加しています。  
本年度の決算審査については3月11日の東日本大震災により、多くの文書類を双葉町役場から持ち出せないため、繰越明許、事故繰越について重点的に行い、契約の確認と契約途中の出来高払い、その他未払いが無いように配慮しながら監査を実施しました。  
財政健全化に取り組み、町、議会、町民等の努力により、実質公債費率を23.7%(3カ年平均)にし、基金へも8億7,436万円余り増額となりました。  
22年度の監査ではありますが23年度の双葉町を考えると胸に迫るものを感じますが、町は、町民の健康を第一に考え、弱者や子供にも等しく手を差し伸べて欲しいと思います。  
双葉町民は1日も早い帰宅を望んでいます。  
23年度はより厳しい財政になりますが経費削減で取り組んでいただきたい。  
以上、申し上げます、平成22年度の決算審査にかかる意見とします。

平成23年9月

双葉町監査委員 五十嵐一雄  
双葉町監査委員 渋谷一弘

## 【一般質問】

9月定例会の一般質問は9月22日に行われ、6名の議員が質問しました。質問の内容を要約してお知らせします。

#### ▼佐々木清一議員

- 町の今後の考え方について
- 復興計画について
- 補償問題について
- 児童・生徒の集いについて

#### ▼菅野博紀議員

- 町政全般について

#### ▼岩本久人議員

- 町長の政治姿勢について
- 長期避難の住環境整備と健康管理について
- 今後の学校教育について

#### ▼野村満議員

- 避難生活に伴う行政のあり方について
- 町復興ビジョンと健康管理について
- 税徴収と対応について
- 町財政について
- 文化財の管理について

#### ▼伊澤史朗議員

- 行政全般

#### ▼谷津田光治議員

- 町条例、規則について
- 町復旧、復興について